

令和3年度  
事業報告書

自：令和3年4月 1日

至：令和4年3月 31日

社会福祉法人若狭町社会福祉協議会

## 法人運営事業

### 組織体制の強化

#### ・ 理事会の開催

- |        |       |                              |
|--------|-------|------------------------------|
| 6月9日   | 第1号議案 | 非正規職員就業規則の変更について             |
|        | 第2号議案 | 次期評議員の選任候補者の推薦案について          |
|        | 第3号議案 | 評議員選任解任委員会の招集について            |
|        | 第4号議案 | 次期役員を選任案について                 |
|        | 第5号議案 | 令和2年度事業報告及び決算報告（監査報告）について    |
|        | 第6号議案 | 定時評議員会の招集について                |
| 6月24日  | 第1号議案 | 会長、副会長、常務理事の選定について           |
| 9月15日  | 第1号議案 | 赤い羽根共同募金について                 |
|        | 第2号議案 | 就業規則の変更について                  |
|        | 第3号議案 | 青年会議所との災害時における相互協力に関する協定について |
| 12月15日 | 第1号議案 | 上期中間監査報告及び今後の事業運営について        |
|        | 第2号議案 | 令和3年度第1次補正予算（案）について          |
|        | 第3号議案 | 評議員会の招集について                  |
| 3月16日  | 第1号議案 | 経理規程の変更について                  |
|        | 第2号議案 | 育児・介護休業及び短時間勤務規程の変更について      |
|        | 第3号議案 | 役員等の賠償責任保険への加入について           |
|        | 第4号議案 | 令和3年度第2次補正予算（案）について          |
|        | 第5号議案 | 令和4年度事業計画（案）並びに予算（案）について     |
|        | 第6号議案 | 評議員会の招集について                  |

#### ・ 評議員会の開催

- |        |       |                           |
|--------|-------|---------------------------|
| 6月24日  | 第1号議案 | 令和2年度事業報告及び決算報告（監査報告）について |
|        | 第2号議案 | 次期役員を選任について               |
| 12月23日 | 第1号議案 | 上期中間監査報告及び今後の事業運営について     |
|        | 第2号議案 | 令和3年度第1次補正予算（案）について       |
| 3月28日  | 第1号議案 | 令和3年度第2次補正予算（案）について       |
|        | 第2号議案 | 令和4年度事業計画（案）並びに予算（案）について  |

- ・ 評議員選任解任委員会の開催  
6月24日 第1号議案 評議員の選任について
- ・ 監事会の開催  
5月18日 令和2年度決算監査  
11月18日 令和3年度中間決算監査
- ・ 三役会の開催  
計12回開催し、決算の作成、理事会、評議員会の招集および議案の提出、人事に関することについて協議しました。
- ・ 事業所会議（安全衛生委員会）の開催  
計12回開催し、事業所内における課題と対策に関することについて協議しました。
- ・ 福祉サービス苦情受付窓口の設置  
福祉サービス利用者からの苦情を受け付ける苦情受付窓口を設置しました。また、苦情解決にあたり、中立・公正な立場から助言を行う第三者委員を設置しました。
  - 苦情受付件数 2件
  - 苦情受付後の対応状況 解決2件

#### 人材確保

- ・ 新卒職員の定期採用のため、職員募集を行いました但採用には至っていません。また、昨年度に引き続き福井インターンシップへの登録を行いました但参加者はありませんでした。
- ・ 安定的な労働力確保のための取り組みの一環として、外国人労働者の受入について検討し、JICA 草の根技術協力事業に応募しました。

#### 安定した財源確保

- ・ 経営改善が必要な事業について、適正な運営方法や人員配置の見直しを行い、経営改善計画を策定しました。
- ・ 財源が不足している部分に自己財源を活用し運営している補助・委託事業について、適正な事業規模および事業継続の必要性を検討し、内容に応じて経費削減を図りました。
- ・ BCP（事業継続計画）作成に向け、研修を受講しました。

・ 社協会費、積立金実績（R4.3.31 現在）			
会費	一般会費	3,436 世帯加入	3,351,791 円
	特別会費	197 件加入	1,200,000 円
積立金	福祉基金積立	4 件	612,000 円
	設備等整備積立	19 件	1,744,005 円
	修繕積立	0 件	0 円

## 地域福祉事業

### < 小地域福祉活動推進事業 >

地域課題解決を目的とする、住民が主体となった福祉活動の支援

- ・ 各地域づくり協議会へ定期的に参加し、地域住民との意見交換や課題の解決にむけての情報提供を行いました。
- ・ 小地域福祉活動推進モデル集落を 6 集落指定しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小地域福祉活動連絡会の開催を中止しましたが、集落代表者と個別に連絡をとり、定期的に課題の共有や情報交換を行うことで集落の将来を見据えたこれからの福祉活動について検討する機会を作ることができました。

- ( 1 ) みそみ地区 地域づくり協議会福祉部会 6 回  
明 倫 地区 福祉部会検討会議 2 回  
熊 川 地区 支え合い推進委員会 2 回  
鳥 羽 地区 支え合い連絡会全体会 2 回

- ( 2 ) 小地域福祉活動推進モデル集落の設置 ( 共同募金審査委員会にて決定 )  
令和元年度～令和 3 年度：気山区芋、無悪区、鳥浜区  
令和 2 年度～令和 4 年度：下野木区、長江区、佐古・田名区

福祉委員が地域福祉活動において中核的な役割を担う人材となるための支援

- ・ 福祉委員研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期しましたが、福祉委員の手引きについて、現行のもの他に、福祉委員活動の内容を分かりやすく示したのものや、活動に有益な情報(福祉関係機関の連絡先一覧等)を記載した資料を作成し、配布することで福祉委員の役割を周知しました。

### < ボランティアセンター運営事業 >

住民や企業に向けたボランティアセンターの周知と PR

- ・ 町内をはじめ県内のボランティア体験活動情報(ボランティア体験 2021)について広報誌を活用し発信したことにより、多数の申し込みがありました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けボランティア体験活動は中止となりました。
- ・ 買い物送迎ボランティア団体の活動紹介や運転ボランティア募集について広報しました。地域住民の方から募集についての問い合わせがあり、運転ボランティアの増員へとつなげることができました。
- ・ 三方建築業組合による家屋補修ボランティアを 8 月 22 日、上中建築組合による家屋補修ボランティアを 11 月 28 日に実施しました。
- ・ 地域での福祉事業などに活用いただけるレクリエーション用具を貸出ししました。

( 1 ) ボランティア登録、更新、斡旋業務の充実

個人ボランティア登録者数 56 名  
ボランティア団体登録数 2 団体  
ボランティア活動保険加入者数 870 名

( 2 ) 福祉教育の推進

ボランティア出前講座の開催

6月11日	福祉について講義	鳥羽小学校
6月18日	障がいについて講義	鳥羽小学校
7月9日	車いす体験	鳥羽小学校
9月30日	講義(福祉について)	瓜生小学校
10月8日	高齢者疑似体験	鳥羽小学校
10月27日	福祉、障がいについて講義	梅の里小学校
11月12日	点字体験	梅の里小学校
11月24日	車いす体験	瓜生小学校
11月26日	手話体験	梅の里小学校
11月29日	車いすバスケットボール・フライングディスク	瓜生小学校
11月30日	アイマスク体験	三方小学校
12月3日	車いす体験	梅の里小学校
12月7日	高齢者疑似体験	三方小学校
12月10日	高齢者疑似体験	梅の里小学校
12月13日	車いす体験	三方小学校
12月14日	アイマスク体験	梅の里小学校
12月21日	ラオス交流	鳥羽小学校

( 3 ) 家屋補修支援事業

三方地域 8月22日 希望者 6件 実施 2件 ボランティア 5名  
上中地域 11月28日 希望者 20件 実施 14件 ボランティア 18名

( 4 ) ボランティア活動への支援

図書館ボランティア『虹の会』 おげんきですか発行支援 4回

( 5 ) サポーター企業について

サポーター企業の地域貢献活動を取材し、社協だよりにて広報しました。

( 6 ) 地域で支える送迎サービス

利用登録者 95名 貸出件数 210件 利用延人数 982名

( 7 ) レクリエーション用具の貸出し

第1三方児童クラブ、第2三方児童クラブ、上中児童クラブ

< つながりの輪推進事業 >

ボランティア活動を通じた地域へのつながりを推進

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ボランティア月間での交流を目的としたイベントは開催できませんでした。

< 子供を中心に地域で取り組む福祉教育推進事業 >

子どもの頃から自主的に福祉活動に取り組むことができるような支援

- ・鳥羽小学校を本事業の指定校とし、「高齢者が生活を行う上での課題は何か」をテーマとした福祉教育に取り組みました。体験学習を通して、高齢者が日常的にどのような生活のしにくさを感じているかの気づきを促し、児童が主体となり地元企業協力のもと課題解決のために協同で製品開発を行いました。福祉体験が“楽しかった”“大変だった”では終わらず、体験を通してどう感じたか、どうすればハンディキャップのある方々が過ごしやすくなるかなどを形にすることで、児童たちの考える力を育成することができました。

< 若狭町災害ボランティアセンター連絡会運営事業 >

発災時の動き方や設置、運営に関する協議

- ・若狭町担当課と災害ボランティアセンターの在り方について検討しました。

9月9日 重機ボランティア受入体制検討会議(県主催)

福井県災害ボランティアセンター連絡会より、災害時に重機など専門的スキルを持つボランティアの活用についての説明会

11月22日「被災地に寄り添う災害ボランティアセンター運営」研修会

災害時の支援の目的についての講義

災害ボランティアセンター運営と連携についての講義

12月2日 災害ボランティアセンター運営者研修

全国各地において自然災害が発生している状況を踏まえ、感染対策を実施しながら災害ボランティアセンターを安全かつ円滑に運営するための手法やポイントについての説明会

3月12日 避難所運営ゲームHUG

避難所の状況を図上で再現し、避難者の配置や炊き出しの場所などの空間配置や対応などの避難所運営をゲーム形式で学ぶ。

< 送迎支援サービス事業 >

住民のニーズを踏まえた支え合える体制づくりの推進

- ・三宅地区にて有償ボランティアによる送迎組織の立ち上げについて、検討を行っており、課題について情報提供を行いました。送迎組織の立ち上げについては新型コロナウイルス感染症のため延期となっています。

( 1 ) 外出支援サービス事業(上中地域 113 名、三方地域 57 名)

( 2 ) 個人用福祉車両貸出し事業 ( 19 件 )

( 単位 : 延利用者数 )

(上半期)	年間目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
外出支援	185	19	16	24	21	9	10	99
		21	17	20	16	13	15	102
個人用貸出	38	2	0	3	1	0	0	6
		2	2	2	2	1	3	12
地域で支える 送迎サービス	1,120	56	76	87	102	95	92	508
		92	97	80	88	89	92	538

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
外出支援	11	13	22	21	18	24	109	208
	11	11	13	11	10	12	68	170
個人用貸出	1	2	2	1	2	2	10	16
	0	2	2	0	1	2	7	19
地域で支える 送迎サービス	105	96	83	79	81	84	528	1,036
	92	84	71	62	66	69	444	982

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

#### < 福祉総合相談事業 >

各種相談事業の周知と様々な相談へ対応

##### ( 1 ) 心配ごと相談

毎月第 2 火曜日 12 回開催 相談件数 7 件 ( 上中地域 4 件、三方地域 3 件 )

##### ( 2 ) 無料法律相談

毎月第 2 火曜日 12 回開催 相談件数 42 件 ( 上中地域 22 件、三方地域 20 件 )

- ・ 相談内容により、町担当課と情報共有し相談者の課題解決のため連携を行いました。

#### < 生活困難者支援事業 >

サービス利用者に合わせた適切な支援

- ・ 認知症高齢者や知的障がい者など、判断能力の不十分な方が在宅生活を継続していくため、地域住民や関係機関と連携しながら、適切なサービスの提供に努めました。



- ・生活福祉資金貸付事業において借入申込受付を行いました。新規契約 23 件すべて新型コロナウイルス特例貸付での申し込みでした。
- ・当会が実施する介護サービスの利用者のうち、家庭の事情等により金銭等の管理が困難な方の、少額の現金および自宅出入口の鍵を管理しました。
- ・所持金が少なく、食事に困っている生活困窮者に対して、食糧の提供を行いました。

(1) 日常生活自立支援事業

(新規契約 1 件、契約終了 4 件、現在利用中 14 件)

9月29日 令和3年度 日常生活自立支援事業 専門員連絡会

1月21日 令和3年度 福祉サービス利用援助事業現地監査

(2) 金銭等管理事業

(新規契約 5 件、契約終了 2 件、現在利用中 9 件)

(3) ふくしの資金貸付事業

生活福祉資金貸付

(新規契約 23 件、契約終了 0 件、現在利用中 67 件)

たすけあい金庫貸付 1 件

緊急食糧支援事業 2 件

(4) ふく福くらしサポート事業

法人連携協(福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会)へ加入しました。生活困難な方を対象とした総合的な相談や生活支援(現物給付)を行いました。

(相談 14 件、利用 3 件)

< 広報活動 >

様々な世代に対する地域福祉活動などの福祉情報の広報

- ・地域福祉に関心を持ってもらえるよう、住民の関心の高い情報を広報誌で発信するため企画を検討しました。町内の各地区・各集落の福祉活動の紹介や、若狭町で活躍する外国人・若者・福祉関係者の紹介に加え、新たな企画として町内の介護保険事業所紹介を掲載しました。
- ・地域での福祉事業などに活用いただけるレクリエーション用具の貸出し及び活用方法等を広報誌で発信したことにより、新たな利用先への貸出しへとつながりました。
- ・ホームページや SNS を使い、町内の情報をはじめ県内のボランティア情報や福井県共同募金会の情報を発信しました。

(1) 社協だよりの発行 4、6、8、10、12、2月発行

< 介護予防・生活支援 >

福祉用具が必要な方への貸出し

- ・福祉用具の利用状況（利用者の状態に適しているか、異常の有無）について確認し、貸出用具が有効に活用されている状態を維持できるよう取り組みました。
- ・必要に応じて貸出用具の整備を行い、いつでも貸し出せる状態を維持しました。
- ・返却された車椅子が老朽化していたため、1台廃棄しました。サイドテーブルが老朽化したため、2台廃棄しました。

（１）介護用品無料貸出事業

ベッド	貸出し中	10台	（残 2台）
車いす	貸出し中	17台	（残 10台）
スロープ	貸出し中	0台	（残 5台）
サイドテーブル	貸出し中	0台	（残 1台）

< 地域サロン支援事業 >

閉じこもりがちな方の孤立防止と介護予防の支援

- ・熊川支え合い推進委員会へ参加し、熊川地区サロンの年間活動内容について検討しました。

< 障がい者アート作品公募事業（きらりアート展） >

障がい者および特別に支援を必要とする児童・生徒の公募アート作品展開催

- ・県の障害福祉施設情報を基に公募案内先を見直し、新たな障害福祉事業所へ公募案内を行いました。その結果、新規事業所からの出品があり新たな作者の発掘や活躍できる場の提供へとつながりました。
- ・申込受付(166点)及び審査会を実施し、受賞作品36点が決まりました。パレア若狭ギャラリー及び県庁、美浜なびあす、ネッツトヨタ福井巡回展示、熊川若狭美術館での展示を実施しました。
- ・障がいや遠方に居住しているなどの理由で展示会に来ることが難しい方にも出展作品を楽しんでいただくため、当会のYouTubeチャンネル開設及び全出展作品を掲載した動画制作を行いました。

< 共同募金助成金事業 >

集落での活動、障がい者や生活困難者への支援などさまざまな地域福祉事業への共同募金助成金の活用

【一般募金助成金事業】

- ・小地域福祉活動推進モデル集落（6集落）への助成
- ・きらりアート展の開催 応募数 166点
- ・要援護者支援調査  
若狭町内の要援護者についての調査を行う費用として活用しました。

【歳末たすけあい募金助成金事業】

・ 広報啓発活動事業

社協だより発行にかかる費用に活用しました。

・ 障がい児クリスマス会

障がいを持った子ども達とその家族を対象に実施しました。

開催日：12月12日（日） 参加者：27名

・ 歳末たすけあいひとり暮らし高齢者激励事業

町内在住で75歳以上、町内に実子がないひとり暮らしの方を対象に

「そば・豆」「花・お茶」「日用品」から希望の品を福祉委員に届け、

福祉委員に安否確認・孤独感の緩和を兼ねて訪問・お届けしていただき

きました。贈呈品には、三方中学校、上中中学校、三方小学校の生徒からの手書きメッセージを同封しました。

配布日：12月17日 対象：61集落 209名

・ 歳末たすけあい福来たる事業

生活保護受給者へお米と日用品を社協職員がお届けしました。

実施日：12月24日（金） 対象者：17名

・ 障がい者ニコニコスマイル訪問事業

身体障害者手帳1.2級を所持しているひとり暮らしの方6名と、18歳

未満の身体障害者手帳をお持ちの方に社協職員がタオルセットをお届けしました。

実施日：12月3日（金） 対象者：9名

## 通所介護事業

安全で安心した在宅生活の支援を目的とした多様なニーズを受け入れる体制作り

- ・ 専門職として知識や介護技術を身に付けたうえで、重度の方を受け入れられる職員体制を整えることができました。
- ・ 新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、安全に地域交流ができるよう努めました。

### < デイサービスセンターパレア若狭 >

#### 認知症個別ケアのサービス提供

- ・ 認知症の症状に合わせた生活スタイルで、利用者がその人らしく過ごす事ができるよう家族や関係機関と連携を取り、ケア会議や担当者会議、退院カンファレンスにも積極的に参加し、個別ケアを提供しました。
- ・ 在宅での生活の情報を共有し、状態の評価をすることで、家族と利用者が共に安心して在宅生活を継続できるよう、急な利用追加や曜日変更にも対応できました。
- ・ 家族介護教室を実施して在宅介護の不安や相談事が個別に出来る機会を設け、より良いサービスに繋げる事が出来ました。

#### 生活支援ハウスとの連携強化

- ・ 生活支援ハウスの入居に併せてデイサービスを利用できるよう連携を取り、途切れないサービスの提供ができました。デイサービス利用の際には、住み慣れた地域の方と再会をして交流を深めることができました。
- ・ 冬季の長期入居を機にデイサービスパレアの利用に繋がりました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,710	292	299	325	332	319	337	1,904
		314	318	335	354	389	401	2,111

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	334	312	309	272	250	295	1,772	3,676
	393	387	366	314	262	319	2,041	4,152

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

利用実績（定員：7名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型 A 型	1,385	70	97	107	110	110	117	611
		116	114	104	104	101	92	631

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型 A 型	133	126	145	129	125	135	793	1,404
	90	93	100	79	72	92	526	1,157

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

#### < デイサービスセンターいずみ >

##### 機能訓練の充実

- ・ 10月～1月の4か月間という短期間ではありましたが、作業療法士を中心に個別機能訓練計画書を立案し、小集団または個別で機能訓練に取り組みました。個々の現状を評価する事で課題が整理出来、具体的な機能訓練の内容を提案する事ができました。

今後はリハビリ体操や、作業療法士から引き継いだ内容を中心に集団または小集団で関わっていけるように継続していきます。

##### 実費サービスの検討

- ・ 緩和型利用者や包括支援センターのケアマネジャーから、実費サービスに関する問い合わせをいただくなど、実費サービスのニーズについてはある程度把握することが出来ました。

利用者の衣服の洗濯業務について検討しましたが、検討を進める中でクリーニング業の届出が必要である等の課題整理が出来ました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,526	295	306	314	325	277	271	1,788
		284	300	300	315	300	300	1,799

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	283	262	277	232	246	270	1,570	3,358
	294	297	244	239	251	300	1,625	3,424

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

利用実績（定員：10名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型A型	1,352	29	37	59	56	46	52	279
		57	45	58	62	62	53	337

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型A型	49	54	40	39	48	55	285	564
	58	48	41	44	27	30	248	585

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

#### < デイサービスセンター五湖の郷 >

地域に根差した運営を目的とした、新しい生活様式の中で利用者と地域との繋がりを継続できる活動への取り組み

- ・ コロナ禍でも感染対策をとりながら、梅の里保育所や近隣の方々との交流の機会を持つことができました。
- ・ 西田地区の文化祭への作品出展や梅の里保育園との交流として利用者から園児への卒園記念品の贈呈など、地域との繋がりを継続する活動を実施できました。

実費サービスも含めた、多様なニーズを受け入れる体制の整備

- ・ 包括支援センターのケアマネジャーと連携して、実費サービスに関する情報を交換する事ができました。
- ・ 長期間訪問サービスのみ利用していた重度利用者を受入れすることができました。個別ケア対応をすることで利用回数も増え安定した利用に繋がりました。
- ・ 胃瘻対応の利用者受入れを2名に増やす事ができました。
- ・ 新たな福祉機器を導入し、送迎が困難な地域の利用ニーズに応えることができました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,770	237	244	284	316	283	302	1,666
		287	303	303	296	305	343	1,837

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	335	293	316	270	263	287	1,764	3,430
	296	303	305	258	248	297	1,707	3,544

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

利用実績（定員：5名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型 A 型	372	8	10	18	16	12	17	81
		24	18	24	27	29	37	159

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型 A 型	17	16	15	16	17	27	108	189
	39	32	23	25	26	24	169	328

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 居宅介護支援事業所パレア若狭

### 特定事業所の介護支援専門員としての資質向上

- ・主任介護支援専門員を1名配置しています。法定研修におけるファシリテーターとして年度内8回の研修への参加を行いました。  
 ファシリテーター...効率的かつスムーズな会議を実現するための進行役。  
 中立的な立ち位置から意見の対立を調整したり、積極的な意見交換を促したりなど、有意義な会議を行ううえで重要な役割を果たす。
- ・定期的な地域ケア会議への助言者として参加しました。また、同会議の参加者として事例提供を行いました。
- ・介護支援専門員実務研修受講者の実習受け入れについて、1名の受入を行いました。
- ・地域福祉事業の金銭等管理事業利用者や福祉機器貸出対象者について情報交換を行い、生活に必要な支援を行いました。

### 地域福祉事業、小規模多機能ホームとの連携強化

- ・地域福祉事業の金銭等管理事業利用者や福祉機器貸出対象者について情報交換を行い、生活に必要な支援を行いました。
- ・地域福祉事業と連携し、社会福祉法人連携協のふく福くらしサポート事業を活用することで生活困難者への支援を行いました。

### 相談窓口としての役割強化

- ・窓口にプレートを設置し、来客者に相談窓口としての周知を行っています。
- ・民生委員、福祉委員の総会へ参加し、顔の見える関係づくりを行う計画でしたが、コロナ禍の影響により参加する事ができませんでした。

### 利用実績

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
居宅介護支援	1,368	99	97	103	105	102	100	606
		109	114	112	119	118	121	693

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
居宅介護支援	104	111	115	113	108	118	669	1,275
	126	123	129	120	122	124	744	1,437

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

介護予防・上半期実績 34件、下半期実績 53件



## 生活支援ハウス

高齢者が安心して健康で明るい生活を送るための活動支援

- ・ 在宅生活復帰に向け、調理や洗濯等の生活面をサポートするため、地域の商店からの物販配送に協力をいただきました。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、毎日の健康観察を行い、入居者の体調管理を行いました。

各関係機関との連携強化による適切な運営

- ・ 各関係機関に空室状況などの情報を提供し利用促進に努めました。
- ・ コロナ禍で県外に住む家族からの生活援助ができない状況の方について、短期入居の利用に繋がりました。

デイサービスセンターパレア若狭との連携強化

- ・ 毎月、短期入居される方に従来通りデイサービスを利用してもらうことで、安定したサービスを提供することができました。
- ・ 入居者の体調の変化や認知症状への関わり方について、デイサービスのスタッフが兼務することで、専門的な見解から判断を行い迅速な対応ができました。

利用実績（居室利用定員：12名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生活支援ハウス	2,510	146	155	120	123	192	224	960
		185	175	164	169	205	180	1,078

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生活支援ハウス	215	183	274	307	280	270	1,529	2,489
	145	102	276	304	262	208	1,297	2,375

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## ホームヘルプサービスいずみ

### 中重度対応の強化

- ・ 自立支援および重度化防止を正しく理解するため、9月定例会で認知症ケアについて研修を行いました。また、2月に高齢者と障がい者の自立支援の違いについてリモート研修を受け、利用者個人の生活のあり方を考えることができました。

### 早朝・夜間帯のサービス提供の充実

- ・ 安定した日常生活を送れるよう、早朝、夜間のニーズを積極的に受け入れてきましたが、現在は固定した早朝、夜間の利用はありません。季節や利用料金（早朝、夜間は割り増し料金となるため）の都合で、日中の時間帯へ移行されました。

### 他事業所との連携強化

- ・ ケアマネジャーとの連携を強化する為、積極的に利用者の変化や要望等を報告し、サービス内容の見直し等の相談や提案を行っています。

利用実績（営業日：月曜日～日曜日 ただし、1月1日～3日までは除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問介護(介護)	9,026	657	698	748	719	640	707	4,169
		678	752	761	769	751	833	4,544
緩和型 A 型	677	29	26	35	47	47	52	236
		43	49	52	39	48	24	255
訪問介護 (障がい)	410	40	32	46	54	43	27	242
		36	34	34	45	37	31	217

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問介護(介護)	701	687	684	620	666	671	4,029	8,198
	854	807	832	682	673	840	4,688	9,232
緩和型 A 型	58	52	39	35	39	44	267	503
	24	28	22	23	29	30	156	411
訪問介護 (障がい)	16	15	9	24	21	43	128	370
	35	31	40	48	54	52	260	477

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 訪問看護ステーションわかさ

### 各関係機関、他の事業所との連携強化

- ・ 共通の利用者について、医師の指示に基づいた各種医療行為や健康管理、介助方法等についての相談に対し助言及び指導を行い、利用者の健康維持、機能維持に努めました。
- ・ 主に若狭町が実施する地域包括ケアシステムの構築に向けた会議や研修等に積極的に参加し、地域包括ケアシステムの構築に貢献しました。また、藤井区のサロンへ参加し、健康指導等を通して地域住民の健康維持に努めました。

### 在宅生活を継続できる支援体制の整備

- ・ 心身状態の急激な悪化に伴う、点滴等の医療処置について積極的に取り組みました。また、高度な医療処置が必要な利用者が安心して在宅生活に復帰できるよう、研修等を頻回に実施し、職員の資質向上を図り、困難症例への対応力の向上が図れました。

### 多様な障がいへの対応

- ・ 精神科訪問看護への対応が可能な体制をとり、精神科病院を中心に事業の周知に努めました。

### 健全な経営を目的とした経営改善計画の遂行

- ・ 医師、ケアマネジャー等からの要望には、可能な限り対応しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、直行直帰の勤務実施に向けた試験運用を行い、課題を抽出し、実用に向けての検討を行いました。

利用実績（営業日：月曜日～金曜日 ただし祝日、年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問看護(予防)	832	73	62	68	76	73	86	438
		62	79	69	49	68	67	394
訪問看護(介護)	4,396	318	254	362	350	332	363	1,979
		280	249	322	273	297	253	1,674
訪問看護(医療)	1,506	90	84	116	103	76	80	549
		121	84	127	85	104	130	651

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問看護(予防)	88	88	76	49	64	62	427	865
	66	66	62	53	65	55	367	761
訪問看護(介護)	369	299	292	307	260	319	1,846	3,825
	234	223	238	263	216	267	1,441	3,115
訪問看護(医療)	69	76	104	106	153	179	687	1,236
	135	101	100	97	113	132	678	1,329

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 生きいきふれあい館

介護予防および地域交流、世代間交流の場等全世代の公共施設としての利用促進

- ・ レインボーラインの企画で達成感の共有やチームワークの醸成を目的とした「チームビルド・アップゲーム」で福井市の中学校に貸館を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。今後も新型コロナウイルスの感染状況をふまえたうえで、貸館利用を働きかけていきます。

利用実績

(単位：延利用団体数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生きいき	833	0	0	55	69	52	67	243
ふれあい館		13	34	54	58	19	28	206

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生きいき	70	66	72	35	77	66	386	629
ふれあい館	60	68	73	22	11	29	263	469

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 葬祭事業

サービスの向上

- ・ ご遺族の方に穏やかな追想のときを過ごしていただけるよう、心をこめて業務にあたっています。
- ・ 地域に根ざした施設運営として北前川老人会による施設周辺清掃を10回（1月、2月を除く毎月第3日曜日）受入れました。

利用実績

(単位：件数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
葬祭事業		17	19	10	14	17	14	91
		22	22	22	14	23	17	120

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
葬祭事業	12	27	25	27	16	14	121	212
	18	19	27	22	22	22	130	250

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## コミュニティカフェきらやま茶屋（障害者就労継続支援B型）

### 安定して利用できる事業所づくり

- ・ いずみ事業所を利活用し焼き菓子工房きらやま Felice を立ち上げ、7月1日より開所することができました。地域住民に周知され売上は伸びています。
- ・ 菓子製造を専門とした事で、製造計画を立て商品を作り納品できるようになりました。また、新商品の開発を行い人気商品も出ています。
- ・ 販路については町内の店舗や県内外の業者と取引ができるようになりました。また、ふるさと納税の返礼品への登録やネット販売も行うようになりました。

### 作業内容など柔軟な対応で働きやすい環境づくり

- ・ お菓子作りは利用者同士ペアになりお互いが補いながら作業ができ、教え合う事もできるようになりました。
- ・ 「主たる」「従たる」各事業所の作業内容を利用者が体験し、自分に合った作業や作業環境を選択することで不安になることなく作業に取り組み、仕事に対する意欲が湧き利用日数を増やす事ができました。

### 誰でも分け隔てなく集える施設づくり

- ・ 地域住民の声を地域福祉事業へつなげるため、地域の各種団体との関係づくりは行いましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の点からイベントの開催などには繋げる事はできませんでした。
- ・ カフェとしては「ふくい安全・安心認証店」や「マスク会食推奨店」「ワクチン・検査パッケージ制度登録店」として県へ登録し、県の基準に則った感染拡大予防を行い、安心して利用していただきました。

### 利用実績（定員：20名 営業日：月曜日～金曜日、ただし年末年始は除く）

就労継続支援は延利用者数（単位：人） その他項目は売上金額（単位：千円 端数切捨て）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
就労継続支援	3,953	184	235	279	279	251	276	1,504
		325	304	314	311	316	344	1,914
カフェ	3,988	210	3	14	99	168	307	801
		270	241	212	285	270	292	1,570
売店	1,457	96	118	126	114	167	149	770
		106	104	75	103	93	98	579
従たる事業所	1,951	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	181	279	275	735

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
就労継続支援	279	277	292	277	268	314	1,707	3,211
	327	356	336	303	316	384	2,022	3,936
カフェ	291	197	269	214	220	310	1,501	2,302
	264	333	283	208	232	290	1,610	3,180
売店	119	129	104	105	124	123	704	1,474
	93	88	100	58	77	87	503	1,082
従たる事業所	-	-	-	-	-	-	-	-
	351	421	603	224	329	581	2,509	3,244

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 小規模多機能ホーム

地域と事業所が連携した、利用者に合わせた柔軟な対応

- ・ 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ状況を慎重に判断しながら、地域との連携を強化できるよう努めました。
- ・ 日々の運営状態やサービス提供で課題となっていることを話し合い、共有することで、三つの事業所の質の向上につなげました。
- ・ 利用者の状況やまわりの環境に合わせ、適正なサービスを提供できるよう対応しました。

### < 小規模多機能型居宅介護ほたる熊川宿 >

利用者と地域との繋がりが途切れない継続的な支援

- ・ 地域の行事が中止や延期となり、地域行事への参加はできませんでした。
- ・ 感染拡大防止の観点から、地域の方を招いての行事を行う事ができませんでした。日々の活動の様子等について年4回広報誌を発行し各集落に回覧しました。
- ・ 熊川地区支え合い推進委員会事務局の一員として、地域サロンへの参加を行いました。

利用者が、その人らしい生活ができるような相談援助および支援

- ・ 個々のニーズや状態に合わせたケアができるように、ミーティング等を通して職員間の情報共有を密にし、安心して在宅生活を送れるよう努めました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：登録者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	165	14	14	14	14	14	14	84
居宅介護		14	14	14	14	14	14	84

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	14	13	13	14	14	14	82	166
居宅介護	14	13	14	14	13	11	79	163

上段は昨年度実績、下段は今年度実績



< 小規模多機能型居宅介護みさき >

地域医療との情報共有や連携の強化

- ・ 安心な在宅生活を続けるため、主治医との連絡を密に取り、職員間で情報共有することでサービスに活かしました。また、地域医療との連携を目的に、僻地診療後の薬剤を高齢者宅に配送し安否確認等を行ないました。

地域の中の福祉拠点としての地域交流の活性化

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、気がかりな人たちへ干物作りなどの声掛けをして、地域の方々との交流を深めました。
- ・ みさき通信に福祉相談の事例を掲載し全戸配布しました。また手書きしたパンフレットを作成し、各公民館や福祉施設、病院に配布し情報提供しました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	147	13	12	11	13	11	14	74
居宅介護		13	13	12	13	13	13	77

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	14	12	11	13	13	10	73	147
居宅介護	13	15	14	15	14	16	87	164

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 小規模多機能型居宅介護きやま虹の家 >

地域との交流を絶やさない福祉拠点としての取り組み

- ・ コロナ禍で「にじカフェ」が開催できず地域の方との交流の機会が減少したため、飲食をせず、体操やレクリエーションを中心とした「にじSUN」を6月から行いました。人数の制限や感染対策を行い実施することで、参加者には大変喜ばれていましたが、感染拡大により下半期は実施することができませんでした。
- ・ 若者を中心とした2階の利活用を考えていましたが、コロナ禍の影響もあり利用には繋がりませんでした。

いつでも、どんな時も安心して過ごせる地域づくり

- ・ 安否確認を含め訪問回数を増やし、訪問の強化を行いました。利用者と地域との関わりや自宅での生活状況を把握し在宅生活を継続できるよう支援しました。
- ・ 他事業所と連携を図りながら、身体の状態が重度化した利用者にも臨機応変に対応できるよう努めました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	183	14	14	15	15	15	17	90
居宅介護		14	14	12	15	14	13	82

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	17	17	17	17	17	16	101	191
居宅介護	16	16	16	17	16	16	97	179

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 介護予防拠点施設五湖の郷

### 地域交流の場としての機能強化

- ・ 五湖カフェは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中で、再開の目途は立っていません。また梅の里夏まつりについても、地域づくり協議会で協議した結果、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

### ボランティア活動の推進

- ・ 定期的に活動いただいている運転ボランティア、カフェ運営ボランティア、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を休止しています。  
レクリエーションボランティアは年間6名、五湖の郷敷地内の草刈り等の清掃ボランティアは、感染予防を行い年間52名の方に活動いただきました。

### 福祉学習の推進

- ・ 梅の里保育園との交流、施設内で利用者と直接関わる事を目的とする学習についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行うことができませんでした。

## 特別養護老人ホーム五湖の郷

### < 特養事業 >

入居者の『安心・安全・安楽』を重視した生活環境作り

- ・ 担当者会議やユニット会議にて 24 時間シートを活用し、入居者一人ひとりの個性や生活リズムを大切にした暮らしの情報を把握・共有し、その見直しを行いながら、必要なケアの統一に取り組みました。終の棲家として 5 名の方が（上半期 2 名、下半期 3 名）施設で最期を迎える事ができました。

利用実績（定員：29 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
特別養護	10,375	870	868	828	877	860	840	5,143
老人ホーム		869	877	870	868	896	866	5,246

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
特別養護	876	835	832	868	794	883	5,088	10,231
老人ホーム	875	828	872	880	784	865	5,104	10,350

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 高齢ショート事業 >

在宅サービスとして『行き甲斐・安心・信頼』を重視した施設利用

- ・ 今までの暮らしのこだわりや生活習慣について、アセスメントや 24 時間シートの活用等で把握し、在宅での生活リズムを大切にした暮らしの延長として過ごしていただけるように努めました。
- ・ 上半期は短期利用の方をはじめ長期利用の方の入院や永眠、特養への入所等に伴う利用中止による空床の影響により実績減（前年比 - 3%）となりました。下半期は実績回復に向けて、各居宅介護支援事業所へ空き情報の提供を行い、緊急受け入れや利用延長等の調整を図った結果、実績増（前年比+8%）へ繋げることが出来ました。

利用実績（定員：10 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
高齢者ショート ステイ(予防)	10	0	0	4	0	0	0	4
		0	0	0	2	0	0	2
高齢者ショート ステイ(介護)	3,093	250	263	260	269	245	265	1,552
		246	270	242	278	253	221	1,510

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
高齢者ショート ステイ(予防)	0	0	0	0	0	0	0	4
	0	0	0	0	0	0	0	2
高齢者ショート ステイ(介護)	246	173	228	270	239	238	1,394	2,946
	240	245	280	283	236	222	1,506	3,016

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 認知症対応型グループホーム五湖の郷

入居者と地域の多様な人材交流の場を提供することによる認知症の相談・支援・啓発の拠点としての役割の強化

- ・ コロナ禍で地域住民の方々との交流の場を提供する事はできませんでした。敷地内の散歩を通じて特養やデイサービスの利用者との関わりを持つ事ができました。
- ・ 家族や地域の方々との繋がりを大切にするために、感染対策を徹底した安全な窓越し面会を実施し、入居者や家族等の不安軽減に努めました。

入居者のニーズに対する医療との連携と体制強化

- ・ 主治医及び特養看護職員へ入居者の日頃の情報提供を行い、異常の早期発見時には早急に相談できスムーズな連携がとれました。
- ・ 健全な運営を目指すために適正な運営方法や人員配置の見直しなどの業務改善を行いました。

利用実績（定員：9名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
グループホーム	3,252	270	279	270	266	260	233	1,578
		270	256	248	248	248	269	1,539

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
グループホーム	218	210	239	261	252	279	1,459	3,037
	279	251	225	248	224	269	1,496	3,035

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 障がい者日中活動支援施設

### 障がいの程度やニーズに応じた支援の強化

- ・ 利用者の能力の維持や向上を目指し、障がいの程度やニーズに沿った日中活動を実施しました。利用者一人ひとりの支援計画は年2回以上見直しを行い、数カ月の短期目標ならびに6ヶ月間の長期目標を作成し支援しました。

### 地域住民に対する障がい者理解の促進

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら利用者自身が地域に出ていき、地域の方々と関われる機会がもてるよう買い物などの野外活動を年間17回（上半期10回、下半期7回）実施しました。またレクリエーション活動に協力いただいている地域ボランティアは年間4回受け入れました。

### <障がい者デイサービス事業（生活介護）>

- ・ 障がいの程度や障がいの種類（身体障害者・知的障害者・精神障害者）に応じて活動場所を整備し、ニーズに応じた支援を行いました。
- ・ 生産活動をやりがいに感じている利用者に対して年間1,988回（上半期1,291回、下半期697回）の作業ができました。

利用実績（定員 20名、営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生活介護	3,366	252	240	275	281	284	282	1,614
		253	264	263	284	275	278	1,617

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生活介護	291	276	282	255	233	273	1,610	3,224
	274	258	262	224	196	261	1,475	3,092

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

### <日中一時支援事業>

#### 児童を安全に受け入れられる職員体制の整備

- ・ 放課後デイサービスや長期休暇スクールの開設時には職員体制を整え、安全に受け入れ対応できました。また利用者や家族の要望に応じ、タブレットを活用したサービスも提供できました。

利用実績（定員 1～4名、営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
日中一時支援	625	34	32	51	52	67	59	295
		64	86	87	80	84	84	485

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
日中一時支援	66	53	49	58	53	70	349	644
	88	83	91	72	43	75	452	937

上段は昨年度実績、下段は今年度実績



## 障がい者ケアホーム五湖の郷

利用者が安心して生活ができ、その上で生き生きと自分らしく過ごすことができるための支援

- ・ 会議やミーティングなどで職員が集まることができる時間を有効に活用し、健康面、衛生面、余暇の時間を重点的に支援することができました。回数を重ねるごとに内部研修に対する意欲も高まっています。
- ・ 自立支援協議会に参加する事により、相談支援専門員や他の事業所との連携も強化され、人材育成などの課題にも対応することができました。また、他機関とのネットワークも広がり、協議会のイベントなどに世話人が参加することもできました。

### < ケアホーム事業 >

利用者が安全安心に過ごし、自立した生きがいのある生活ができる事業所づくり

- ・ 歩数計を活用した運動の機会や、自分の趣味を掲示できる場所などを提供することによって、心身共に健康的な生活が送れるように支援ができました。年間を通して入院される方もいませんでした。
- ・ 薬の管理や定期受診の段取り、行政への書類作成など、以前は職員が管理や代行していたことが自分でできるようになるなど、自立に向けて支援の提供ができました。

利用実績（定員：7名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
ケアホーム	2,395	204	204	202	205	207	199	1,221
		201	204	201	205	203	201	1,215

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
ケアホーム	208	195	204	201	184	208	1,200	2,421
	206	200	206	202	186	208	1,208	2,423

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

### < 障がいショート事業 >

緊急時なども含めた、使いたい時に使えるサービス作り

- ・ 地域生活支援拠点等の役割である『緊急時の受け入れ、対応』について、町および県に申請を行いました。サービス提供時に加算が取得できるようになり、緊急時にもサービスを受け入れやすくなりました。定期的に地域生活支援拠点等

の会議に参加し、その結果をスタッフと共有することでより良い支援にも繋げることができてました。

- ・長期かつ緊急的な依頼を2件受け入れることができ、本人や家族の負担軽減や実績の増加に繋がりました。また、家族の入院などの理由による緊急の長期利用も受け入れることができました。

利用実績（定員：2名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数【1泊を1とする】）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障がいショート	392	8	12	16	20	20	28	104
		20	40	41	54	49	41	245

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障がいショート	26	25	24	22	18	24	139	243
	25	27	26	20	21	23	142	387

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

#### < 移動支援事業 >

感染症対策に十分配慮した上での柔軟なサービス提供

- ・コロナ禍でも可能なサービス内容を提示して、サービスを途切れることなく提供することができました。また、短時間の買い物支援などのニーズにも対応することができていました。

利用実績（営業日：月曜日～金曜日）

（単位：延利用時間）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
移動支援	217	2.5	0	15	6	4	3.5	31
		2	3.5	2	4	2	4	17.5

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
移動支援	3.5	3.5	3.5	4	3.5	4	22	53
	4	4	2	4	4	5	23	40.5

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

## 五湖の郷食事サービス

### 安心安全な食の提供

- ・ 厨房職員及び納品業者に対して毎月の検便検査などの衛生管理を行いました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症やノロウイルスなどの感染症予防対策として自己管理を徹底しました。
- ・ 安価な食材にとらわれず地産地消を優先し季節に応じて安心安全な食材を使用しました。

### 利用者の年齢層や体力に見合った内容の形態や、献立の検討

- ・ 職員間で利用者情報を共有し、利用者の体調に合わせた形態の変更や食事内容の変更に素早く対応しました。
- ・ 若い年齢層の利用者には、盛付の量を調整し体力に見合ったカロリーになるように工夫しました。

### 災害対策マニュアルの作成と、備蓄用品や食材の準備

- ・ 五湖の郷食事サービス独自の災害対策マニュアルを作成しました。これを基に職員間で有事の際の対応方法を共有します。
- ・ 災害対策用の備蓄食品や備品、調理用品を揃えました。

### 経営改善の取り組み

- ・ 健全な運営を目指すために適正な運営方法や人員配置の見直しなどの業務改善を行いました。現在パート職員の募集を行っていますが、応募が無い状況の中、職員3名で超過勤務、休日出勤をせずに業務を遂行出来る様、更に業務改善を行いました。